

我が校の強み弱み分析・評価シート

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

調査人数が少ないため、全校的な傾向を捉えるのは難しいと言えますが、国語科においては「読むこと」について、算数科においては「変化と関係」について全国平均を上回っていました。しかしながら、国語科の「書くこと」、算数科の「数と計算」について課題がみられました。

児童質問紙より国語科・算数科の学習が好きな児童の割合が全国平均を上回っていました。

児童質問紙では「自己有用感」に関する項目に肯定的な回答をする児童が多く、全国平均を大きく上回りました。なかでも「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「学校に行くのが楽しい」の項目では、肯定的な回答を選択する割合が非常に高い傾向にあります。

家庭学習について1日の学習時間が全国平均を下回っており、自ら学習に進んで取り組むことの大切さを理解し、実行できるようにすることが重要と考えます。

《強み》

- ・国語科より→読むこと
文章と図表などを結び付け必要な情報を見付けることができます。
- ・算数科より→変化と関係
伴って変わる二つの数量の関係について表から変化の特徴を読み取り、表の中の適切な数を使うことができます。
- ・質問紙より
国語科や算数科が好きな子どもが多いです。
自己有用感が高いです。
地域をよくしようと考えている子どもが多いです。

《弱み》

- ・国語科より→書くこと
文章全体から情報を取り出し、分析・整理することや、文の書き表し方に着目して、文や文章を整えて書く力に課題がみられます。
- ・算数科より→数と計算
乗法の計算が乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできていることや、その筆算の仕方について課題がみられます。
- ・質問紙より
家庭学習の時間や、自分で計画を立てて学習することに課題がみられます。

【指導の充実に向けて】

- ・本年度取り組んでいる国語科の授業研究を一層進め「書く」活動へ慣れ親しむために、学習の振り返りや作文など、書く活動を授業に組み込む工夫をします。また、様々な文章に触れる機会を設け、正しい文章構成や言葉を学ぶための工夫をします。
- ・算数科では自分の考えや答えを導く手順を、図や表、文章で書き表す学習活動を行い、筋道を立てて考えることができるようにする授業づくりをすすめます。またICT機器を適切な場面で積極的に活用していきます。
- ・反復練習による学習内容の定着や自主的な家庭学習ができるよう宿題や自由に選択できる教材を考え、どの学年も学年×10分以上の家庭学習に取り組む習慣化を図ります。
- ・伊香立の地域教材を取り入れた学習を充実させ、地域や家庭も含めた関わりを通して、伊香立を愛し、誇りに思う気持ちを養い、豊かな心の育成を図ります。

